

報告事項ス

平成27年度発達障がいと診断された幼児・児童・生徒の在籍者数調査の結果について

発達障がいと診断された幼児・児童・生徒の在籍者数調査の結果について、別紙のとおり報告します。

平成27年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

県内の発達障がいの幼児・児童・生徒数の推移について

特別支援教育課

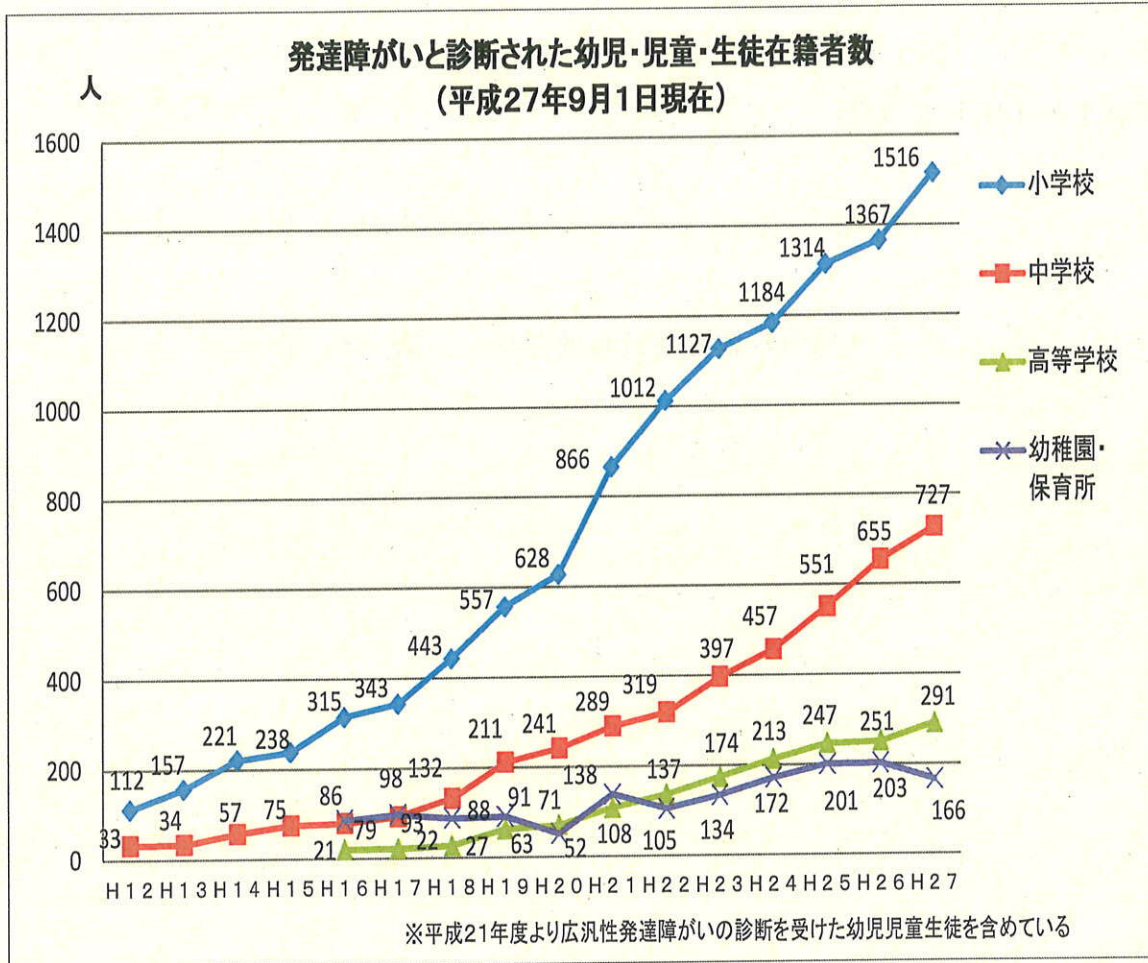
<調査について>

「発達障がいと診断された幼児・児童・生徒の在籍者数調査」

<内容>

県内の幼稚園・保育所、小学校、中学校、高等学校（専修学校を含む）が把握している発達障がいと診断された幼児・児童・生徒在籍者数については下記のとおりである。

※幼稚園・保育所、高等学校は、平成16年度より調査を実施



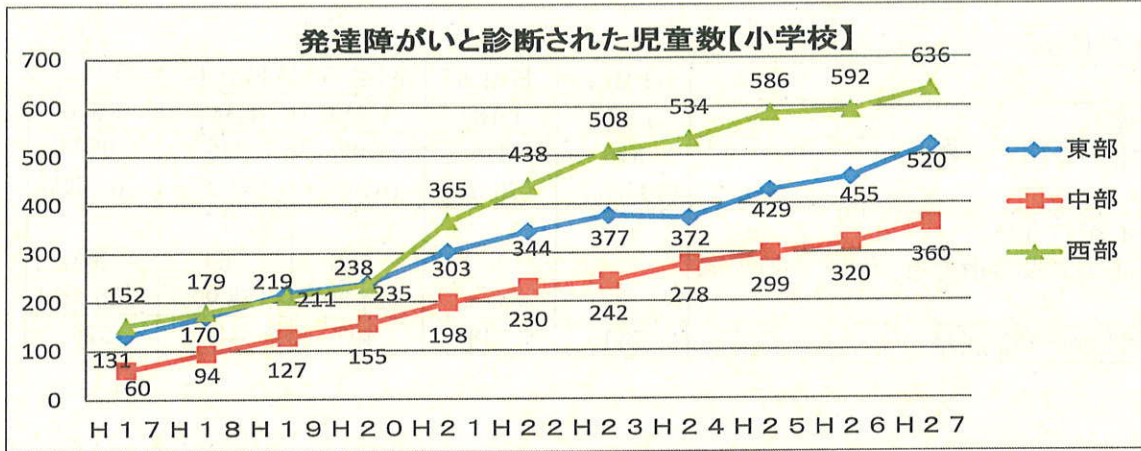
<推移について>

・幼稚園・保育所、小学校、中学校、高等学校において、発達障がいの診断を受けていることを園・学校が把握している幼児児童生徒は年々増加している。

<全児童生徒数に対する割合（平成27年9月1日現在）>

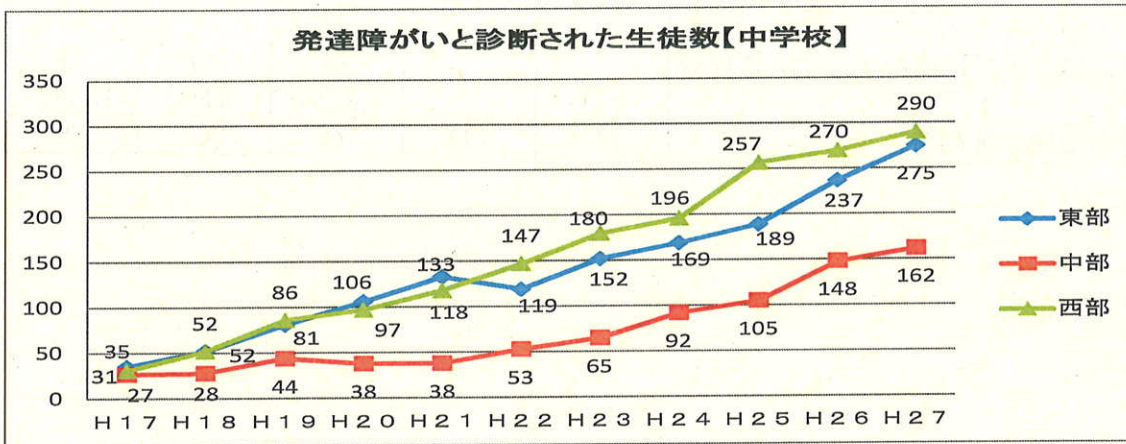
	在籍者数(人)	全児童生徒数(人)	割合(%)
全体	2,534	62,159	4.1
小学校	1,516	30,224	5.0
中学校	727	16,181	4.5
高等学校	291	15,754	1.8

【参考1】 圏域・校種別の発達障がいと診断された児童生徒数の推移



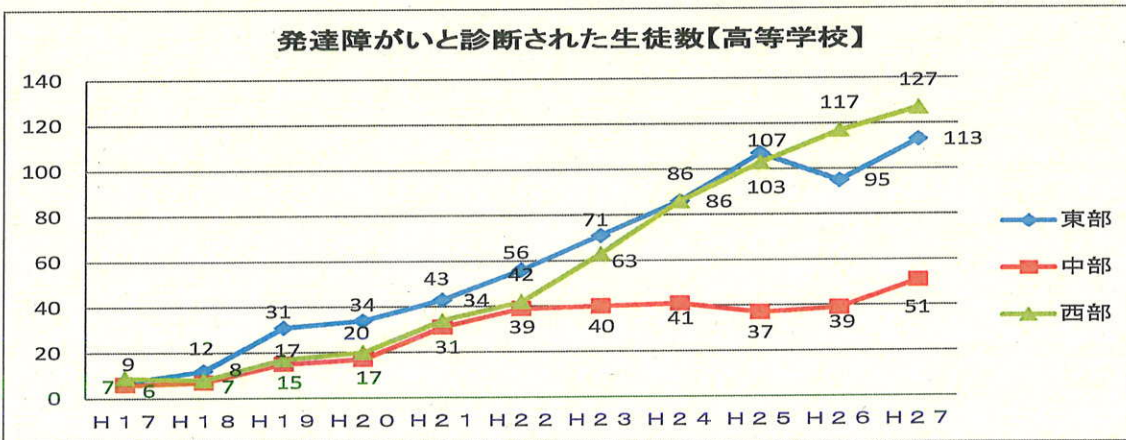
【小学校】 各圏域全児童数に対する割合

東部	中部	西部
4.2%	6.5%	5.2%



【中学校】 圏域全生徒数に対する割合

東部	中部	西部
4.2%	5.6%	4.3%



【高等学校】 各圏域学校全生徒数に対する割合

東部	中部	西部
1.8%	1.9%	1.9%

【参考2】発達障がい診断を受けている児童生徒の教育の場について

<小学校> (人)

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
全体	1,127	1,184	1,314	1,367	1,516
通常の学級に在籍	816 (72.4%)	836 (70.6%)	907 (69.0%)	918 (67.2%)	992 (65.4%)
上記のうち 通級による指導を受けている児童			225 (24.8%)	265 (28.9%)	265 (26.7%)
特別支援学級在籍	311	348	407	449	524

<中学校> (人)

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7
全体	397	457	551	655	727
通常の学級に在籍	260 (65.5%)	319 (69.8%)	389 (70.6%)	453 (69.2%)	505 (69.5%)
上記のうち 通級による指導を受けている児童			34 (8.7%)	40 (8.8%)	51 (10.1%)
特別支援学級在籍	137	138	162	202	222